

河北水・土・里 POWER フェスティバルにて研究成果の広報活動を実施しました

水工学研究領域水利制御グループ主任研究員 人見忠良

10月15日(日)に寒河江川土地改良区の主催で山形県河北町にて開催されました「河北水・土・里 POWER フェスティバル」において研究成果の広報活動を実施しました。

当研究部門では同町にて「スマート農業実証プロジェクト・多面的機能向上スマート水管理実証コンソーシアム」の中で、「田んぼダム」や「冬水田んぼ」、「ICT 機器による水利施設の水管理作業の省力化」の実証試験に取り組んでいます。本フェスティバルでは、これらの成果をパネルやディスプレイ(動画)、模型を使って、来場者一人一人に説明しました。

当日はあいにくの雨でしたが、同町や近隣の町から多くの方々が来られ、身近な場所で人や環境に優しい農業に取り組んでいることに、興味を持って頂けました。

また、農業水利施設の役割を理解してもらうために展示したアルキメデスの水車は、実際に手で水車を回すことで揚水することが体験できるとあって、子供に人気の出し物となりました。



家族連れで説明を聞いて頂いた方が多かったです



NN 事業に関心のある方も説明を聞きに来て頂きました



水車の模型は小学生が何度も回しに来てくれました



会場は円筒分水工脇の空地に設けられ、施設の見学もできました